

## 2014年1～4月の中朝エネルギー資源貿易動向

中国税関統計によると、2014年の1～4月の中朝両国間の貿易額は約18億ドル、2013年同期比マイナス2.8%である。中国から北朝鮮への輸出額は9.7億ドル、前年同期比マイナス4.1%になり、北朝鮮からの輸入額は8.3億ドル、同マイナス1.3%となった。また、金正日時代の2012年の同期と比べると、中国の対北朝鮮輸出の年平均伸び率はマイナス6.4%となった。これは中朝間の政治関係の実態が反映されたものと見られる。

表 1.1 2014年1～4月の中朝貿易額

	貿易額 (百万ドル)			対前年比
	2012	2013	2014	14/13
輸出	1,106	1,010	969	-4.1
輸入	794	842	831	-1.3
輸出入	1,900	1,852	1,799.3	-2.8

(出所) 中国税関統計

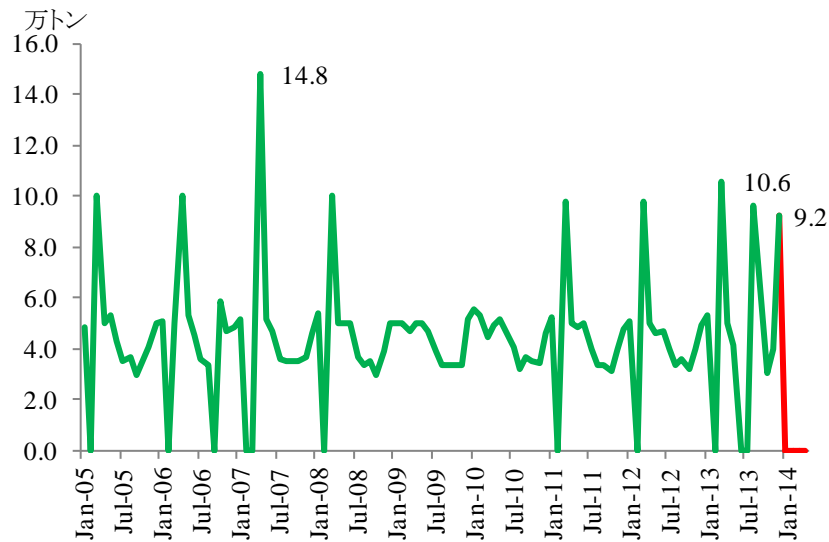
中国の対北朝鮮輸出品目を見ると、鉱物性燃料の輸出は77.4%減少し、一方、鉄鋼の輸出は106%の増加になった。輸出品目構造を見ると、鉱物性燃料の占める比率は、2013年同期の27.8%から21.2ポイントも低下して6.6%となった。他方、2014年の電気機械類の比率は4.9ポイント上昇して、輸出額の11.5%を占めた。

表 1.2 2014年1～4月の上位10品目の中国の対北朝鮮輸出

HS Code	品目	2012		2013		2014		14/13
		百万ドル	%	百万ドル	%	百万ドル	%	%
85	電気機器	83.3	7.5	66.2	6.6	111.8	11.5	68.7
84	機械類	103.9	9.4	61.3	6.1	74.8	7.7	22.0
27	鉱物性燃料	274.1	24.8	281.2	27.8	63.4	6.6	-77.4
54	人造繊維の長繊維	35.2	3.2	36.1	3.6	55.0	5.7	52.3
39	プラスチック	45.8	4.1	32.5	3.2	49.0	5.1	50.4
87	車輛	81.7	7.4	77.2	7.6	48.6	5.0	-37.1
72	鉄鋼	23.2	2.1	17.3	1.7	35.6	3.7	106.0
15	油脂	29.9	2.7	23.5	2.3	34.3	3.5	46.0
55	人造繊維の短繊維	24.6	2.2	22.9	2.3	28.2	2.9	23.0
61	衣類及び衣類附属品	15.6	1.4	18.9	1.9	26.8	2.8	42.2
	その他	389.0	35.2	372.9	36.9	441.1	45.5	18.3
	合計	1,106.1	100.0	1,010.1	100.0	968.5	100.0	-4.1

(出所) 中国税関統計

鉱物性燃料輸出額の減少の原因については、中国は2014年の1月から4月まで4ヵ月連続で対北朝鮮原油輸出が停止されていることが最も大きな原因になる。北朝鮮は石油消費の9割を中国からの輸入に依存しており、中国が原油輸出を停止すれば、軍事行動や軍需生産等に対して大きな影響が及ぶ。中国の原油輸出停止は、北朝鮮の核開発に対する圧力であると推定される。



(出所) 中国税関統計

図 1.1 2005 年以降における中国の対北朝鮮原油月間輸出量の推移

他方、中国から北朝鮮への石油製品輸出を見ると、ジェット燃料（航空ケロシン）の輸出が大幅に増え、1～4月の輸出量は1.3万トンに達した。また、ガソリンの輸出は2.8万トンに上り、2013年同期の1.7万トンより64%の増加になった。これは、北朝鮮が最低限の需要を賄うようにするためと見られる。

表 1.3 2014年1～4月の中国の対北朝鮮の石油製品の輸出

	輸出（トン）			対前年比 14/13
	2012	2013	2014	
ガソリン	16,708	16,776	27,508	64.0
ジェット燃料	569	250	13,110	5,144
軽油	7,695	16,765	8,360	-50.1
重油	5,831	4,177	2,942	-29.6
潤滑油	294	602	531	-11.8
グリース	58	4	12	228.6
ベースオイル	467	492	344	-30.1
その他	6	81	112	38.5
<b>合計</b>	<b>31,628</b>	<b>39,146</b>	<b>52,919</b>	<b>35.2</b>

(出所) 中国税関統計

2014年1～4月における北朝鮮からの輸入状況を見ると、鉱物性燃料の輸入額は3.7億ドルに止まり、2013年の4.7億ドルよりマイナス20.5%となった。また、輸入額に占める鉱物性燃料の比率は、2012年の59.1%、2013年の55.6%と比べると低下して44.8%に下がった。価格変動の要因以外では、石炭輸入の減少が、鉱物性燃料の輸入額減少の最大の要因になったと見られる。また、北朝鮮の伝統的な輸出品である鉄鋼の輸入も減少した。他方、輸入総額に占める衣類関連製品の

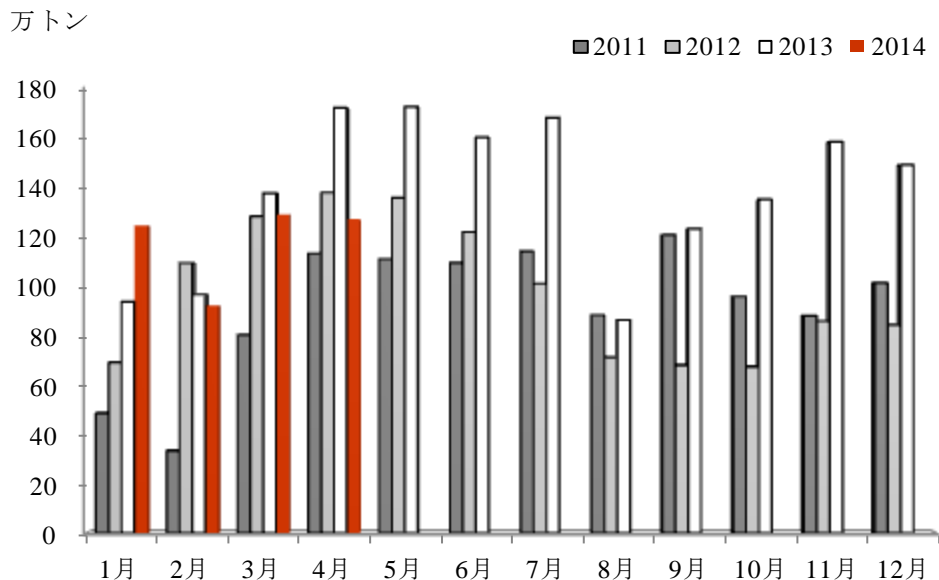
比率は上昇した。

表 1.4 2014年1～4月の中国の対北朝鮮輸入額

HS Code	品目	2012		2013		2014		14/13
		百万ドル	%	百万ドル	%	百万ドル	%	%
27	鉱物燃料	469.2	59.1	468.1	55.6	372.1	44.8	-20.5
62	衣類及び衣類品	77.1	9.7	112.5	13.4	157.7	19.0	40.1
26	鉱石	93.1	11.7	96.1	11.4	101.2	12.2	5.3
61	衣類及び衣類附属	22.0	2.8	29.2	3.5	41.7	5.0	42.7
72	鉄鋼	38.6	4.9	35.1	4.2	30.8	3.7	-12.3
03	魚並びに甲殻類	17.6	2.2	13.6	1.6	24.2	2.9	78.2
85	電気機器	12.4	1.6	14.6	1.7	16.9	2.0	15.8
25	塩、硫黄、土石類	13.3	1.7	9.7	1.2	15.3	1.8	57.8
79	亜鉛及びその製品	12.0	1.5	17.1	2.0	14.1	1.7	-17.8
08	食用の果実	12.4	1.6	5.6	0.7	9.5	1.1	69.7
	その他	25.9	3.3	39.8	4.7	47.3	5.7	18.9
	合計	793.6	100.0	841.5	100.0	830.7	100.0	-1.3

(出所) 中国税関統計

2014年1～4月の北朝鮮からの無煙炭輸入は473万トンであり、2013年の500万トンより27万トン減少した。2011年以降の月別の無煙炭輸入動向を見ると、一般に旧正月以降8月までは輸入が増える傾向にある。但し、中国の経済不況のあおりを受けて、石炭輸入が今後減少する可能性もある。

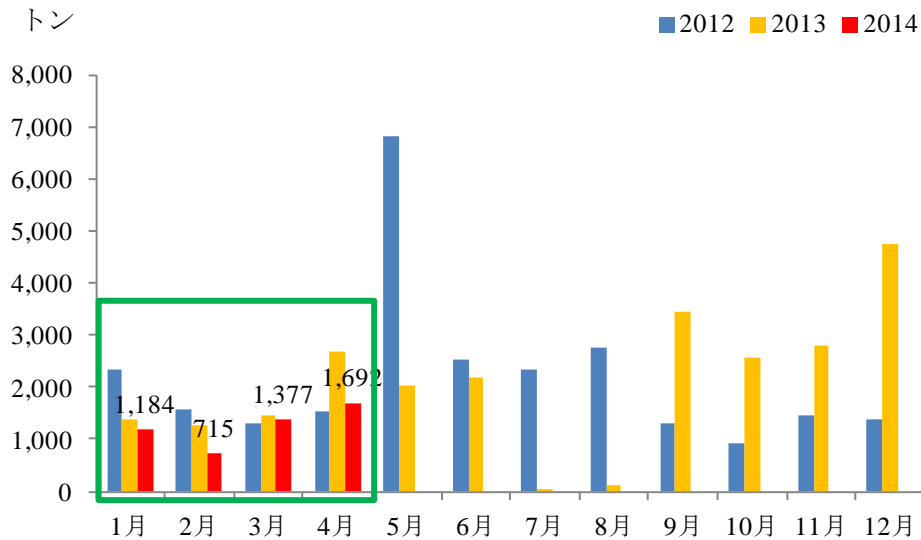


(出所) 中国税関統計

図 1.2 月別の中国の対北朝鮮無煙炭輸入

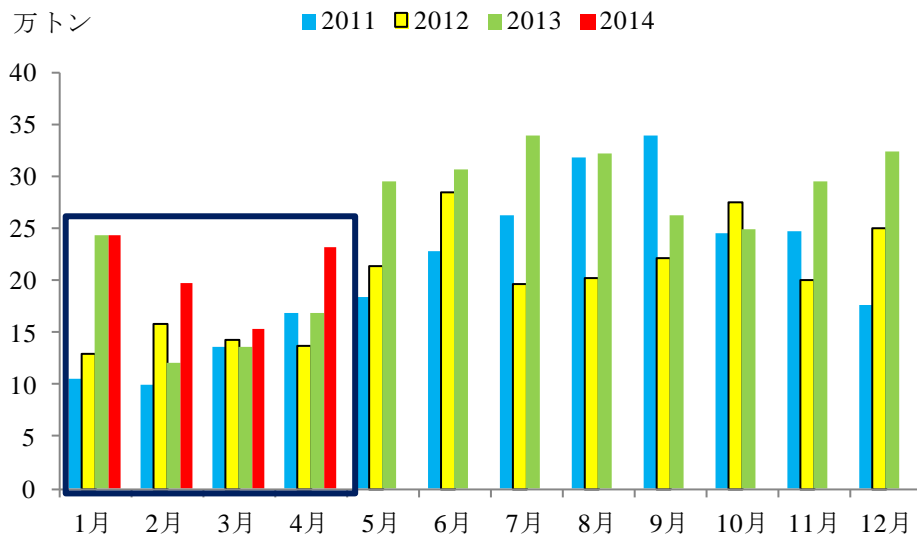
2014年1～4月の鉱石類の輸入については、全体として2013年同期より5.3%増加したが、個別

に見ると、銅鉱石の輸入量は2013年同期の6,783トンより1,815トン減少して、4,968トンとなった。他方、鉄鉱石の輸入は2013年の66.7万トンより15.8万トン増加して、82.5万トンとなった。



(出所) 中国税関統計

図 1.3 月別の中国の対北朝鮮の銅鉱石輸入



(出所) 中国税関統計

図 1.4 月別の中国の対北朝鮮の鉄鉱石輸入

2014年4月までの貿易以外の中朝両国の交流動向を見ると、丹東空港の改修が完了し、年内に丹東と平壤の間に航空路線が開通する予定である。また、2014年5月から延辺朝鮮族自治州の図們から自動車による北朝鮮観光も可能となった。

2014年5月29日

2014年1～4月の中朝間の貿易と交流動向を纏めると、中朝政治関係は一定程度悪化したものの、両国の民間交流が拡大している傾向が見て取れる。また、北朝鮮が中国に対する依存を短期間で低減させることは難しいと考えられる。

(エイジウム研究所 首席研究員 張 継偉)

**Asiam Research Institute** <http://www.asiam.co.jp/>